

空家を地域の資産として…



空家利活用の方策を検討し
地域の将来を考える

市主催のワークショップに、柘植地域より44人が参加

1月15日(金)午前、いがまち公民館で『空家等対策計画』策定をめざしたワークショップが開催されました。手法はKJ法という方法で、8つのグループに分かれて行いました。この会議は、西柘植・壬生野の各地域もいっしょになって、今後のまちづくりに向けて知恵を出し合うものでした。

参加者の感想(一例)

- 空家になってからの対策も必要だが、少子高齢化で空家が増えるのは明らか。若者が流出しない方策が先では？
- 空家登録を制度化し、行政やまちづくりで活用策を検討してはどうか。利用者を探して、そのマッチングを行政やまちづくりが担えるとよい。また空家リフォームの補助金制度も必要では？
- 地域に持ち帰って、このような議論をしたい。今後、行政と密な連携がほしい。



柘植地域 まちづくりだより 第159号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)

伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五二九一四〇二

電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日 二〇一六(平成二十八年)二月一日(月)

新春かるた大会!

教育ボランティア

1月16日(土)午前、柘植小学校で昨年に続いて、2回目の「柘植のホント」かるた大会が開かれました。

昨年は「通常絵札」(手のひらサイズ)でのかるた取りでしたが、今年は、体育館で「大判絵札」を使ったかるた取りも行いました。子どもたちは歓声を上げて、絵札を探していました。



体育館に広げられた
「大判絵札」を探す児童たち

お知らせ 「大判絵札」は、まちづくり協議会で貸出を行っています。必要な場合は事務局にご連絡ください。



